

松尾 幸二郎（豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 助教）

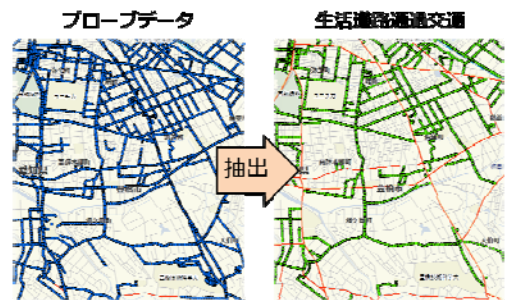
所在地	〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1
電話	0532-44-6864（直通）
ファックス	0532-44-6864（直通）
メール	k-matsuo@ace.tut.ac.jp
ホームページ	http://www.tr.ace.tut.ac.jp/

交通現象・交通行動を科学的に捉え、安全・便利・快適で地域社会と調和のとれた交通システムのあり方とその実現方策を追及するための研究に取り組んでいます。

【テーマ1】交通ビッグデータを活用した交通安全マネジメント手法に関する研究

効果的かつ効率的な交通安全マネジメントを実施していくためには、交通事故危険性について科学的な解明を行うことが不可欠です。

本研究では、交通事故統計データに加えて、自動車プローブデータや道路空間 3 次元データなど交通ビッグデータを活用した交通安全マネジメント手法の構築を目指しています。具体的には、愛知県や豊橋市を対象として、事故危険性統計モデルの構築、地点別・事故類型別の事故危険度の評価や要因分析、特定事故危険地点における詳細な交通流の観測調査・解析・シミュレーションモデルの構築、それらに基づく交通安全対策の立案・評価を行っています。

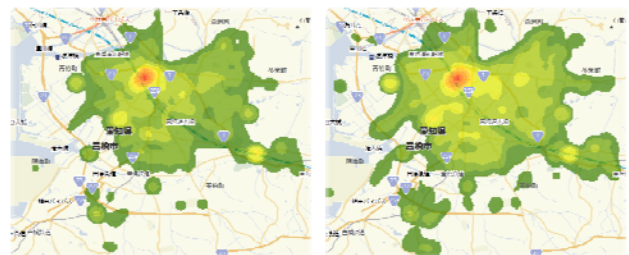


自動車プローブデータからの 抜け道交通
(生活道路通過交通) の抽出

【テーマ2】タクシーを活用した地域公共交通ネットワーク計画に関する研究

2009年10月にタクシー適活法が施行され、タクシーが地域公共交通であると明確に位置づけられました。これからは、地域公共交通ネットワークとしてタクシーをどのように活用していくのかを考えることが必要かつ重要な視点となってきます。タクシーは、鉄道やバスといった他の公共交通機関が乗合大量輸送を行うものであるのに対し、個別輸送・ドアトゥドアの特性を持つ公共交通機関であり、鉄道やバスでは対応できない多様な移動ニーズに対応できるという長所があります。

本研究では、近年タクシーへの導入が進んでいるデジタルタコグラフによって自動的に記録されたデジタル日報データ（乗降車地・時刻・料金など）を中心に活用しながら、タクシー交通実態分析およびタクシー利用メカニズムの解明を行うとともに、シミュレーション等により利用料金補助など地域公共交通としての様々なタクシー活用策の評価を行っています。



豊橋市内におけるタクシー交通の乗降車地分布
(左：乗車地，右：降車地)